

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ソレイユ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・敷地内にグラウンドや体育館、プールがあり、活動の幅を広げることができる。	・その日の職員や利用している子どもの人数、子どもの意思も含めて体育館やグラウンドに行く機会を作り、療育活動の幅を広げている。 ・体育館には平均台やマットがあり、また、こども園が法人内にあるため、備品等も必要に応じて借りることができる。	・敷地の広さや体育館、グラウンドなどの活動場所があるよさをいかして、職員が活動内容を工夫しながら、支援の質の向上にもつなげていく。 ・思いっきり活動できる場があることをいかしながら、安全面についても、職員が引き続き意識を持つ。
2	・イベント活動(季節の行事)を大切にしている。 (ハロウィン、運動会、クリスマスなど)	・ハロウィンやクリスマス、節分など、年間を通じて定期的にイベントを行っている。イベントの際のマニュアルの作成をしている。	・職員同士での話し合いの時間をもちながら、過去にしたことも参考にしながら、内容に少し変化を持たせる等、工夫をしていく。
3	・室内が広く、個室がある。 ・室内について、子どもたちと一緒に活動するのに十分な広さがある。	・もともとあった個室(安静室)に加えて、学習スペースをつくり、子どもたちが落ち着いて過ごせる空間を増やした。	・個室や学習スペースを使っている時は、それが子どもたちにわかるように視覚支援を活用して、落ち着いて過ごせる環境、周囲からの刺激を軽減できる環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員全体での情報の共有が不十分である。 ・情報の内容によって知っている職員、知らない職員がいる状況がある。	・職員の勤務時間や勤務体制のちがいが、兼務をしている職員もいるため、個々の職員同士の中でのやりとりにとどまっていることがある。 ・支援の振り返りや業務面のことなど、全体で共有するための時間が十分に設定できていないことがある。	・支援会議の際にプラスアルファで全体への周知等の時間を設けていく。 ・日々の業務面の見直しを行う。 ・全員が同じ情報を把握できるように、不在の職員に対しての周知の仕方の再考する(伝達ノートの活用など)。
2	・地域とのつながりが薄い。	・法人内でのフェスティバル、ハロウィンでの他事業所との交流など、行事と一緒に参加する機会にとどまっている。	・地域との関わりという点から何ができるのかを職員間で考えていく。 ・他事業所との交流についても、少しずつ広げていけるように、事業所間でも連携をしていく。
3	・室内の空間の広さをいかしきれていない。	・室内にアコーディオンカーテンはあるが、室内を完全に区切れるつくりになっていない。	・課題等に取り組むスペース、遊ぶスペース等、室内の広さをいかして、子どもたちが過ごしやすい療育空間を考えていく。 ・パーティションの利用など、視覚的に刺激を軽減できるようにする。